野付崎海岸 侵食対策事業

野付崎海岸は、漁業や観光などの地域産業の基盤であり、良好な自然環境に恵まれ、国内最大である特異な砂嘴地形を形成するなど、多様な生態系や優れた海岸景観を有しています。本海岸は、平成18年、21年と波浪による砂浜の侵食が著しく、近年では平成26年、令和4年に漁業関連施設や道路の越波・浸水被害が発生しています。このような状況から、海岸保全施設の整備により地域住民の安全・安心な生活と豊かな自然環境を確保するものです。

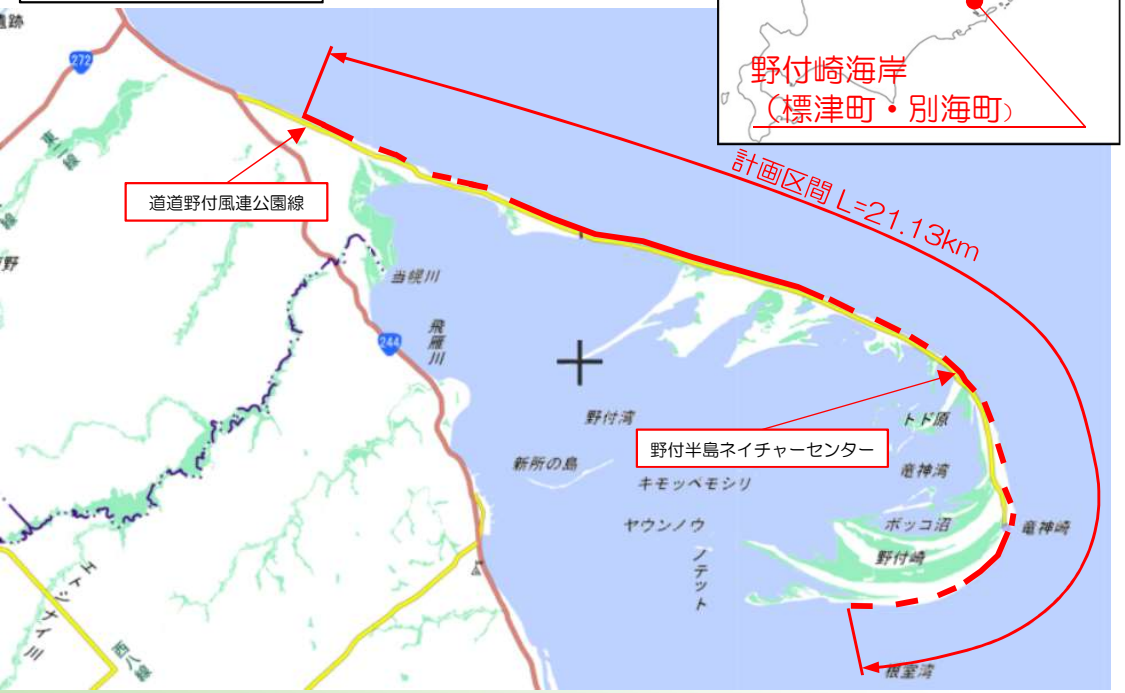
《事業概要》

事業延長	：	L=21.13km
事業期間	：	平成14年度～令和14年度（予定）
全体事業費	：	約107億円
事業内容	：	消波堤L=4.01km、突堤N=38基

《位置図》

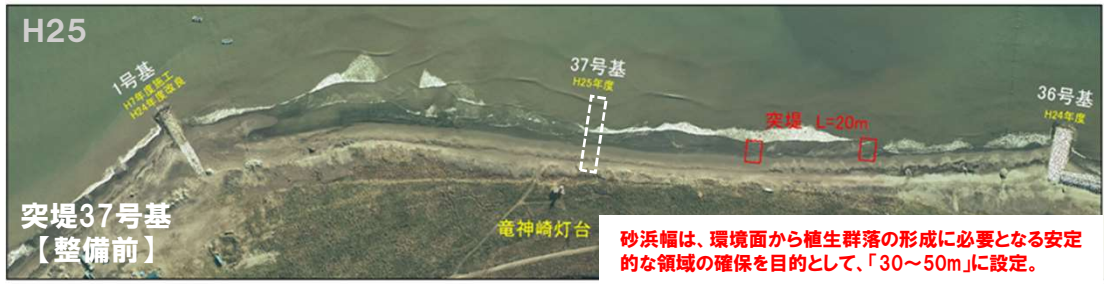
着　色　凡　例

■：現計画整備箇所

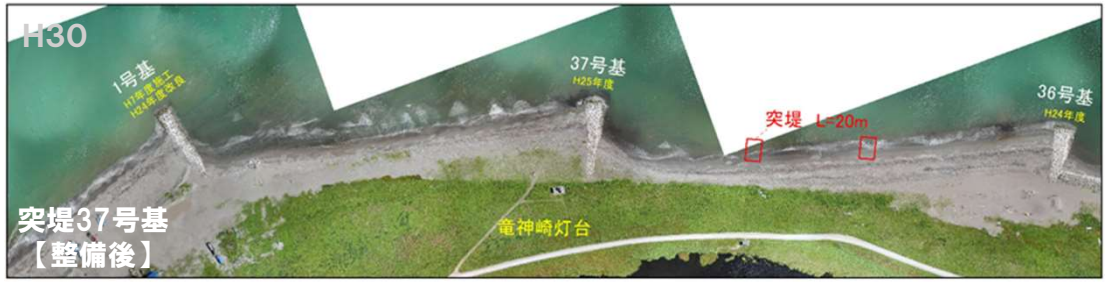
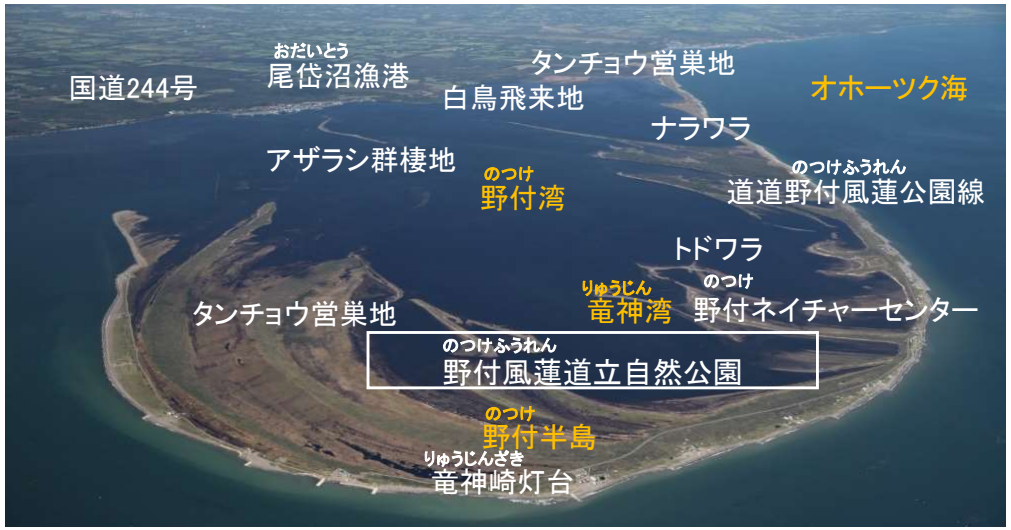


地図の出典先：国土地理院

《整備効果》



砂浜幅は、環境面から植生群落の形成に必要となる安定的な領域の確保を目的として、「30～50m」に設定。



《写真：野付崎海岸》